

公益社団法人 上伊那教育会 代議員会（総研修会連絡会）

期日：令和5年5月18日（木） 会場：上伊那教育会館講堂

5月18日（木）、代議員会が上伊那教育会館講堂にて行われました。今回は6月7日（水）開催の総研修会「仰望の日」について、代議員の皆様に係分担の委嘱をさせていただくとともに、開催にかかわって各校に周知いただく内容について連絡させていただきました。



原 浩範 会長挨拶



代議員の皆さん、こんにちは。今は、二十四節季で言うと「小満」の頃にあたります。小満とは、草木が成長して天地に満ち始める頃を意味しています。

まさに、各校でも、4月に蒔いた学習の種が芽を出し成長を始め、子どもたちが夢中になって、その学習課題に取り組んでいる頃ではないかと思います。そのような中、代議員の皆様方にはご都合をつけてお集りいただき、誠にありがとうございます。

本日の代議員会は、6月7日に行われる上伊那教育会総研修会「仰望の日」の連絡を中心に位置付けて開催させていただきましたが、併せて、信濃教育会の事業について、総務会計部長 原文章様よりお話いただきます。また、前上伊那教育会会長 浦山哲雄様、前理事 小澤徳夫様への感謝状・記念品の贈呈式も行われます。よろしくお願いいたします。

さて、総研修会「仰望の日」ですが、令和2年度は中止、3年度・4年度はオンライン開催でした。本年度は、上伊那中の会員が同じ場に集い、同じ雰囲気を感じながら、一体感をもって学び合うことができる一日にしたいと考えました。それで、伊那文化会館の空調工事終了を待ち、6月7日に開催することにしました。例年より実施日が遅くなったことで支障も出てきたため、それに配慮して午前の「仰望の日」の終了時間を例年より若干早めました。来年度は、これまで通り5月に戻すことになっております。ご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。～裏面へ～

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌「仰望」
- 3 会長挨拶
- 4 信濃教育会挨拶
- 5 協議
 - (1) 総研修会、教科等教育研究会について
 - ①係分担委嘱について
 - ②総研修会、教科等教育研究会について
 - ③意見・要望
- 6 諸連絡
 - (1) 総研修会について
 - (2) 教科等教育研究会について
 - (3) 上伊那教育会総研修会等の反省について
 - (4) 県外教育関係機関研修について
 - (5) 少年の塔周辺整備作業について
- 7 前上伊那教育会長、退任理事への感謝状・記念品贈呈
- 8 閉会の言葉

<会員の皆様へ>

- 6/7の総研修会の開場時刻は、8時50分です。開始時刻は9時15分ですので、9時10分には着席をお願いします。
- 駐車場に関わって
 - ・自家用車で来られる先生方には、代議員より配布（掲示）される通知に従って駐車をお願いします。
 - ・会場周辺の混雑を避けるため、駐車場周辺の交通方法についてご協力をお願いします。
- 座席は地区ごとに決められています。会員の皆さんは一階席のご自分の地区の座席にお座りください。（2階席は合唱団・駐車場係、一般の皆様の座席です）

4年ぶりに一堂に会しての総研修会となりますので、「仰望の日」の意義を再確認しておきたいと思います。総研修会「仰望の日」は平日一日開催です。午前の総研修会では、合唱と会員発表、講演会が、午後の教科等教育研究会では、総会や専門的な研修が行われます。これは、他郡市の教育会にはない、まさに上伊那の特色であり、先達が地域の理解と信頼を得ながら築いてきたものです。平日を休みにして、1100名を超える全会員が研修を行うことができるのは、成長につながる公益性のある事業であると、保護者・地域の皆様方に認めていただいているからです。そのことを改めて互いに確認し合いたいと思います。私たちの研修が子どもたちの研究と修養は我々の責務です。平日一日開催の意味をかみしめ、研修に主体的に参加できますよう、会員の皆様方へのお声がけをお願いいたします。

総研修会「仰望の日」が、いよいよ3週間後に迫ってまいりました。代議員の先生方には係分担していただき、運営をお支えいただくこととなります。4年ぶりに全会員が参集することとなりますが、会員にとって有意義な研修になりますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。「仰望の日」が、会員同士がかかわりつながりながら、「共に学び、共に育つ」よい研修の一日になることを期待して、挨拶いたします。よろしくお願いいたします。

信濃教育会 原 文章 様 ご挨拶（要旨）

代議員の皆さんには4月より会員募集等にご協力いただき、感謝している。信濃教育会員数は、上伊那は数名の減少にとどまっているが、県全体で見ると減少傾向にある。また出版物の販売数も減少傾向にある。信濃教育会としてもこの状態について危機感を抱いている。上伊那出身の武田会長のもと、各種の改革（今年度も2つの新たな研修を企画）をしてきているが、なかなか各郡市教育会に伝わっていかないもどかしさを感じている。



信濃教育会のような組織は実は全国的には稀な会である。明治19年に発足した時の原点は、教師自らの「授業を良いものにしなければ」の思いだった。今こそ、そこに立ち返って信濃教育会を利用して研修を深めることを考えて欲しいし、その意を伝え、会員をさらに増やしてほしい。本日配布したパンフレットにある研修を紹介し、うまく利用して行ってほしい。さらに災害見舞金制度についてもぜひお伝えいただき、一人でも多くの人に入会していただけるようお伝えしていただきたい。

前上伊那教育会会長並びに退任理事への感謝状・記念品贈呈

会の後半には、昨年度上伊那教育会にご尽力いただきました前会長浦山哲雄先生と前理事小澤徳夫先生へ、原会長から感謝状と記念品が贈呈されました。

贈呈式後のスピーチでは、贈呈に対し感謝の気持ちを述べられると共に、浦山哲雄先生から「会館に来た時に、来てよかったな、学べたなという思いを持っていただけるような会館を目指したい」というお話をいただきました。また、小澤前理事からは「次世代を担う若い人を育てて欲しい。そのためにも4年ぶりに参集で行われる仰望の日をぜひ成功させてほしい」というお言葉をいただきました。お二人の先生方、ありがとうございました。

